

## 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	温故知新 御代田町民みんなで作る みよたかるた
事業主体 (連絡先)	NPO 法人信州御代田ハピネスプロジェクト
事業区分	(3) 教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,318,032 円 (うち支援金 : 988,000 円)

### 事業内容

御代田のすばらしさを皆で発見し、句や写真にしたためて応募する住民参加型の事業。たくさんの方の目線で切り取られた町の特徴を審査により選定し「みよたかるた」という誰もが親しめる形にした。札には本名と、本人のコメントを掲載し自尊心を刺激。絵札に写真を多く使い、まつりの空気感、建物のディテール、景色の美しさなどがダイレクトに伝わるようにした。「み」「よ」「た」の札を全部揃えられたら加点されるなど、オリジナルルールを盛り込んだ。2017年1月9日に第1回かるたとり大会及び採用者への授与式を行った。



【第1回かるた大会】

### 【目標・ねらい】

- ①御代田の魅力を皆で発掘する
- ②町に愛着を感じる
- ③町の特徴を次世代へ継承する
- ④かるた大会を通して世代間のつながりをつくる

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ▼応募者総数 70 名  
句応募 488 作品 写真(絵)応募 4 作品

- ▼2017年1月9日かるたとり大会  
参加者約 50 名 会場来場者約 100 名

①当初あまり予測していなかった町外からの移住者の投稿により、町の良さ(優位性)を、既住者が気づかされた。②③御代田の特徴や歴史など親しみやすい題材が多いため、予想以上に学校で積極的にかるた遊びをしている様子が見えてくる。遊びを通して町の個性や特色を伝えることができている。④かるた大会においては、世代を超えた人達がかるたを囲み、町の話題を共通項にしていた。その微笑ましい姿に、昔の人の係わり合いを思い出し、感動の涙を流す人も出た。

### ※自己評価 【A】

【理由】学校やサロンなど、多くの人達に遊んでいただき、札を取りながら町の話題で盛り上がるなど、あらためて町の良さを知るきっかけになった(写真の効果も大きい)。自分の名前が入ったかるたに、自尊心を刺激されている人(子ども含む)が多い。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

さらなる「みよたかるた」の浸透をはかる。定期的なかるた大会開催はもちろん、本事業への関与者を更に増やしていきたい。ネットを使った情報拡散も積極的に行う予定。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある